

令和5年度 第2回

丹波篠山市視聴覚ライブラリー運営委員会

日 時：令和5年11月22日（水）19時～

場 所：丹波篠山市立中央図書館 視聴覚ホール



1. 開 会

2. 委員長挨拶

3. **報告事項**

- ・令和5年度事業実施状況について …P1
(参考資料 10月末現在実績データ) …別添資料

4. **審議事項**

- ・令和6年度の事業計画、予算要求について …P5

5. その他

6. 閉 会

令和5年度 丹波篠山市視聴覚ライブラリー運営委員会委員

任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日

委員種別	氏名	所属等		備考
1号	しおじり かつべい 塩尻 活平	小中学校代表	今田中学校長 (中学校視聴覚担当代表)	
〃	さかい ひろむ 酒井 宏	小中学校代表	古市小学校長 (小学校視聴覚担当代表)	
2号	ありもと みわ 有本 美和	社会教育団体代表	I C Tサロンサポートスタッフ	
〃	でぐち たつよ 出口 立世	社会教育団体代表	四季の森アートプロモーション	副委員長
〃	いわさき ゆみこ 岩崎 裕見子	社会教育団体代表	ビデオサークル「レインボー」	
〃	しんかわ ようこ 新川 曜子	社会教育団体代表	朗読ボランティア「松ぼっくり」	
3号	はた ひろえ 畑 弘恵	知識経験者	指名委員 (篠山城下まちづくり協議会)	
〃	まつもと まさのり 松本 将典	知識経験者	指名委員 (映像企画・制作 スタジオマックス)	
〃	まつもと きよかず 松本 清一	知識経験者	元中学校長	委員長
〃	まつおか みほ 松岡 美穂	知識経験者	まるいのTV司会	

報告事項

令和5年度の事業実施状況について

1 視聴覚ライブラリー事業

視聴覚機器の特性を生かした市民の生涯学習の支援・研究を行うとともに、地域の映像記録の制作を支援し、社会教育・学校教育の充実を図る。

【予算】1,178千円

運営委員報酬、消耗品費、修繕費（公用車定期点検費用など）、著作権使用料など

(1) 視聴覚ライブラリー運営委員会の開催

※丹波篠山市視聴覚ライブラリー条例第5条及び第6条に基づく

開 催：第1回（6月27日）、第2回（11月22日）

協議内容：第1回（R4事業実績、R5事業推進について）

第2回（R5事業実施状況、R6事業計画と予算要求について）

(2) 編集室での映像編集、メディア複製、音声録音の支援 継続中

映像編集、メディア複製・変換、録音などが行える編集室を無料で開放し、市民の記録映像をはじめ、映像・音声の制作等の支援・指導を行う。

【施設・貸出機器】

編集用PC 6台、メディア複製機器（DVD・ブルーレイ）、録音ブースほか

○利用件数(10月末) 232件 月平均 33件 (R4.10月末)208件 月平均 30件

○新規利用者数(10月末) 34人 (R4.10月末) 25人

【詳細は資料 P1、2、3】

(3) 視聴覚機器の貸出と活用支援 継続中

ビデオカメラ、プロジェクター、スクリーン、ブルーレイディスクプレーヤーなどの機器を無料で貸し出すとともに、操作方法や活用方法の助言を行う。

【貸出機器】

ビデオカメラ 3台（HD2台、4K1台）、プロジェクター4台、スクリーン6台、ブルーレイプレーヤー2台 ほか

○貸出件数(10月末) 231件 月平均 33件 (R4.10月末)181件 月平均 26件

○新規利用者数(10月末) 26人 (R4.10月末) 13人

【詳細は資料 P1、2、4】

(4) **映像記録及び映像制作** **継続中**

各課から依頼のあった映像の制作、制作支援を行った。随時 4K カメラでの映像撮影を行う。 **【詳細は資料 P6】**

2 地域映像配信事業

蓄積してきた映像情報をインターネット配信する。ビデオサークル「レインボー」や地元高校生の協力の下、地域ニュースや「丹波篠山まるいのTV」制作に取り組む。

【予算】 302 千円

映像ワークショップ講師謝礼、まるいのTV 司会謝礼、ビデオ収録協力者謝礼
映像制作委託料

(1) **丹波篠山動画データベースの蓄積・制作・配信** **継続中**

①地域映像ニュースを制作し、配信する映像情報の充実を図る。

【詳細は資料 P 7】

②映像制作委託については、10 月末の時点では未実施。今後委託予定。

③保有する 1,392 本の DV テープについて、8/25～10/31 の期間で 87 本取込完了

(2) **お便りビデオの制作・配信** **継続中**

ビデオサークル会員等のお便りビデオを丹波篠山動画データベースで配信する。

7/ 6 丹南剣道クラブー人間成形の道ー 大西陽矢（トライやるウィーク）

9/29 甦れ！旧陶芸会館 清水まり子さん

(3) **丹波篠山まるいのTVの制作・配信** **継続中**

①市内の地域情報やまちづくりの取組などを「丹波篠山まるいのTV」番組で収録し、最終金曜日にインターネットで配信する。

②収録に当たって、ビデオサークル「レインボー」や篠山鳳鳴高校放送部の協力を得て実施する。

③YouTube 以外でも視聴できるよう、市内の宿泊施設、医療施設、老人施設等に DVD を配布して施設内での放映を行う。（20 施設から 16 施設に減）

④聴覚障がいのある方、施設内での無音放映への対応として、字幕入りで制作する。

配信回数：6 回（10 月号休止） **【詳細は資料 P 8】**

(4) **映像ワークショップの開催** **継続中**

丹波篠山映像祭で開催する「Enjoy 丹波篠山♪ショートムービーアワード」に応募するきっかけとなるよう、映像祭実行委員長の岩田瑞希さんを講師に映像づくりワークショップを開催した。

○回数：2回

○参加者（定員6人）：7月30日 6人 8月11日 7人（親子1組含む）

○撮影ワークショップ：河原町 編集ワークショップ：丹波篠山市民センター

(5) **丹波篠山の伝統行事や祭礼の映像記録制作** **継続中**

佐佐婆神社御例祭の「はた祭」の宵宮と本宮の流鏝馬神事及び、黒岡春日神社秋祭りの4年ぶりとなる、本宮の太鼓みこしの様子を収録・編集し、まるいのTV11月号のオープニングとエンディングで使用した。

(6) **「画像付き音声動画」YouTube 配信** **継続中**

朗読ボランティアが朗読した「市広報丹波篠山」、「議会だより」の紙面画像付き音声動画を発行毎に制作し、YouTubeで配信する。

3 情報化推進事業

パソコン操作に関する市民の相談窓口として、「ICTふれあいサロン」を運営し、市民の「ICT力」向上のための支援を行う。

【予算】428千円

スタッフ協力者謝礼、燃料費、ボランティア保険料

ICTふれあいサロンの運営 **継続中**

情報通信に関する市民の相談窓口として「ICTふれあいサロン」を運営し、市民ボランティアスタッフによるパソコン初心者への操作支援を行う。

【詳細は資料 P1、2、5】

○利用人数(10月末) 延べ570人 月平均81人 (R4.10月末)587人 月平均84人

○新規利用者数(10月末) 21人 (R4.10月末) 14人

○スタッフ数 11人（推移：7月 1人減、11月 1人増）

4 全国アマチュア映像コンテスト事業

丹波篠山から全国に向けて、「生きる」というテーマを映像で発信することを目的に、全国アマチュア映像コンテスト「丹波篠山映像大賞」を開催する。また、丹波篠山映像祭実行委員会に事業委託し、令和5年度丹波篠山映像祭において「Enjoy 丹波篠山 ショートムービーアワード」を実施する。

【予算】1,000千円

賞金、記念品、協力者謝金、消耗品、丹波篠山映像祭実行委員会への事業委託料など

(1) **第35回丹波篠山映像大賞の運営** **継続中**

全国のアマチュア作者から、「生きる」をテーマにした7分以内の映像作品を募集し、丹波篠山映像祭に実施する最終審査会において、事前審査を通過したファイナリスト6作品の公開審査を行い顕彰する。今回は全国から62本(昨年度56本)、北は北海道江別市、南は長崎県諫早市から応募があった(市内応募は1件)。

- ①作品募集期間： 令和5年6月1日～令和5年8月31日(必着)
- ②審査委員： 西垣吉春、小林和樹(NHK 神戸放送局)、久保仁(サンテレビ)
- ③最終審査会： 11月26日開催の丹波篠山映像祭で実施する
- ④賞： 映像大賞、兵庫県知事賞、市議会議長賞、市教育長賞各1作品
ファイナリスト賞2作品

【詳細は資料P 9、10】

(2) **丹波篠山映像祭の開催** **継続中**

丹波篠山映像祭は、テーマを「映像でこころ豊かに」とし、素晴らしい作品との出会いや、作品制作における発見、達成感、充実感など、映像を通じた豊かな暮らし、豊かな人づくりを目的に開催する。

映像祭実行委員会に業務委託を行い、丹波篠山映像祭における映像イベント「Enjoy 丹波篠山ショートムービーアワード」を実施する。

【委託料】470千円

実行委員報酬、映像大賞募集要項・映像祭チラシ制作費、賞金、動画制作費など

①令和5年度丹波篠山映像祭

開催日： 令和5年11月26日(日)

会場： 四季の森生涯学習センター多目的ホール

②Enjoy 丹波篠山ショートムービーアワード(実行委員会が運営)

「丹波篠山の魅力が伝わる映像、丹波篠山で感じた素晴らしい瞬間や楽しい体験を映像に」をテーマに、30秒以上1分以内の映像作品を募集したところ、20本の応募があった(市内10 市外10 応募者数18人)。映像祭当日は実行委員審査を通過した優秀賞3本を含む8本を上映し、優秀賞を発表する。応募のあった映像は、実行委員が番組に編集して、11月19日からYouTubeで配信する。

審査基準： 丹波篠山の魅力が伝わる構成になっているか、また、独創性があり創意工夫がみられるか

審査発表： 事前審査で優秀賞(3点)を選出
映像祭内で受賞者を発表

賞及び賞金： 優秀賞(3点) 賞金1万円

【応募作品一覧は資料P11】

審議事項

令和6年度の事業計画について

1 視聴覚ライブラリー事業

視聴覚機器の特性を生かした市民の生涯学習の支援・研究を行うとともに、地域の映像記録の制作を支援し、社会教育・学校教育の充実を図る。

【予算要求額（前年度予算額）】 3,235 千円（1,178 千円、前年度比 2,057 千円増）

運営委員報酬、著作権使用料、消耗品費、修繕費（業務用カメラ三脚ほか）

備品購入費（4K 映像対応編集パソコン一式 2,039 千円）等

(1) 視聴覚ライブラリー運営委員会の開催 **継続**

※丹波篠山市視聴覚ライブラリー条例第5条及び第6条に基づく

開催： 第1回（6月）、第2回（11月）

○任期：R5.4～R7.3

協議内容： 事業実績、事業計画等について

(2) 編集室の無料開放と撮影・編集、音声の録音やメディア複製の支援 **継続**

映像編集、メディア複製・変換、録音などが行える編集室を無料で開放し、市民の記録映像をはじめ、映像・音声の制作等の支援・指導を行う。

【施設・貸出機器】

編集用パソコン6台、著作権フリー音楽、メディア複製機器等

☆新規備品購入 4K映像対応編集パソコン一式 2,039 千円

平成22年度導入のハイビジョン対応編集パソコンを更新するための予算を要求

(3) 視聴覚機器の貸出と活用支援 **継続**

ビデオカメラ、プロジェクター、スクリーン、ブルーレイプレーヤーなどの機器を無料で貸し出すとともに、操作方法や活用方法の助言を行う。

【貸出機器】

ビデオカメラ3台（HD2台、4K1台）、プロジェクター4台、スクリーン6台

ブルーレイディスクプレーヤー2台 ほか

(4) 映像制作 **継続**

視聴覚ライブラリーとしてのドキュメンタリーなどの映像制作を行う。

2 地域映像配信事業

蓄積してきた映像情報をインターネット配信する。ビデオサークル「レインボー」や地元高校生の協力の下、地域ニュースや「丹波篠山まるいのTV」制作に取り組む。

【予算要求額（前年度予算額）】3,051千円（302千円、前年度比2,749千円増）

まるいのTV 司会謝礼、ビデオ収録協力者・市民動画づくり講座講師謝金

映像制作委託料、備品購入費（NAS【ネットワークHDD】2台 2,838千円）

(1) 丹波篠山動画データベースの蓄積・制作・配信 継続・新規

- ①地域映像ニュースを随時制作し、配信する映像情報の充実を図る
 - ②撮影案件に職員が対応できない場合や、職員数以上の撮影人員が必要な場合などにおいて、映像撮影・編集を市内事業者へ委託する
 - ③丹波篠山動画データベースの周知を図る
 - ④保有するVHSテープ及びDVテープ、HDVテープについて、再取り込みを行い予算要求しているNASに保存し、動画データベースに追加する
 - 保有メディア数 VHS 1029本、DV 1,392本、HDV 351本、DVD 397枚
 - テープメディア総データ容量 約22TB（VHS 473時間 DV 1,050時間）
 - ハイビジョン総データ容量 約20TB（HDD13台で管理）
- ☆新規備品購入 NAS（容量96TB）2台 2,838千円
- 保有している映像データを、永久保存するため大容量NASの予算を要求
- ⑤保存されている動画データや撮影データ、編集データなどの保存方法を再検討し、担当職員が異動した場合でも業務を引き継げるようルールなどを考案する

(2) 丹波篠山まるいのTVの制作・配信 継続

- ☆①市内の地域情報やまちづくりの取組などを「丹波篠山まるいのTV」として制作し、最終金曜日にYouTubeで配信する。配信回数を年間12回から6回に縮減し、基本的に奇数月の最終金曜日に配信をする。 配信回数6回（奇数月）
- ②収録は、ビデオサークルレインボーや篠山鳳鳴高校放送部の協力を得て実施する。
 - ③YouTube以外でも視聴できるよう、市内の宿泊施設、医療施設、老人施設等にDVDを配布する。また、字幕入りで制作し、配信・配布する。
- 配布箇所（市施設3、宿泊施設1、医療施設6、特老・老健7 合計17）

(3) 市民動画づくりワークショップの開催 継続

映像制作事業者による動画撮影・編集の技法を学ぶワークショップ（講座）を開催し、楽しく映像づくりに親しんでもらい、市民の映像制作の裾野を広げる。

(4) **丹波篠山の伝統行事や祭礼の映像記録制作** **継続**

4Kカメラで地域の伝統行事や祭礼を随時撮影し、将来的に縮小・廃止される可能性があるものから優先的に記録していく。

(5) **「画像付き音声動画」YouTube 配信** **継続**

朗読ボランティアが朗読した「市広報丹波篠山」や「議会だより」の画像付き音声動画を制作・配信する。

3 情報化推進事業

パソコン操作に関する市民の相談窓口として「ICTふれあいサロン」を運営し、市民の「ICT力」向上のための支援を行う。

【予算（昨年度予算）】 427 千円（428 千円、前年度比 1 千円減）

スタッフ協力者謝礼、ボランティア保険、燃料費

ICTふれあいサロンの運営 **継続**

パソコン操作に関する市民の相談窓口として「ICTふれあいサロン」を運営し、市民ボランティアスタッフによるパソコン初心者への操作支援を行う。

4 全国アマチュア映像コンテスト事業

丹波篠山から全国に向けて、「生きる」というテーマを映像で発信することを目的に、全国アマチュア映像コンテスト「第36回丹波篠山映像大賞」を開催する。

また、丹波篠山映像祭実行委員会に事業委託し、令和6年度丹波篠山映像祭において「Enjoy 丹波篠山ショートムービーアワード」を実施する。

【予算（昨年度予算）】 1,000 千円（1,000 千円、増減なし）

記念品、協力者謝金、賞金、消耗品、食糧費、印刷製本費、郵便料

丹波篠山映像祭実行委員会への事業委託料（470 千円）

(1) **第36回丹波篠山映像大賞の運営** **継続**

全国のアマチュア作者から、「生きる」をテーマにした7分以内の映像作品を募集し、丹波篠山映像祭に実施する最終審査会において、事前審査を通過したファイナリスト6作品の公開審査を行い顕彰する。主催は丹波篠山市教育委員会、丹波篠山市とし、事業運営は視聴覚ライブラリーが行う。

①作品募集期間： 令和6年6月1日～令和6年8月31日（必着）

②審査委員： 西垣吉春、小林和樹（NHK神戸）、久保仁（サンTV）（予定）

③最終審査会： 令和6年11月17日開催（予定）の丹波篠山映像祭で実施する

④賞： 映像大賞、兵庫県知事賞、市議会議長賞、市教育長賞各1作品
ファイナリスト賞2作品（予定）

(2) **令和6年度丹波篠山映像祭の開催** **継続**

丹波篠山映像祭は、テーマを「映像でこころ豊かに」とし、素晴らしい作品との出会いや、作品制作における発見、達成感、充実感など、映像を通じた豊かな暮らし、豊かな人づくりを目的に開催する。

また、丹波篠山市教育委員会、丹波篠山市、丹波篠山映像祭実行委員会の共催とし、映像祭実行委員会に業務委託を行い、丹波篠山映像祭における映像イベント「Enjoy 丹波篠山ショートムービーアワード」（予定）を実施する。

【委託料】 470 千円

実行委員報酬、映像大賞募集要項・映像祭チラシ制作費、賞金、動画制作費など

①令和6年度丹波篠山映像祭

開催日： 令和6年11月17日（日）13時開会

会場： 四季の森生涯学習センター多目的ホール

②Enjoy 丹波篠山ショートムービーアワード（予定）

丹波篠山の魅力が伝わる映像、丹波篠山で感じた素晴らしい瞬間や楽しい体験を撮影した1分以内の映像作品を募集し、実行委員審査を通過した作品を実行委員が番組に編集して、映像祭1週間前にYouTube公開するほか、優秀賞受賞者を映像祭内で発表する予定。内容については実行委員会で検討する。